

令和3年度前期生徒会所信表明

私たち生徒会が考える実現目標は、お互いの存在を認め合うことで、誰もが安心できる、笑顔が溢れる学校にしていきたいと考えています。

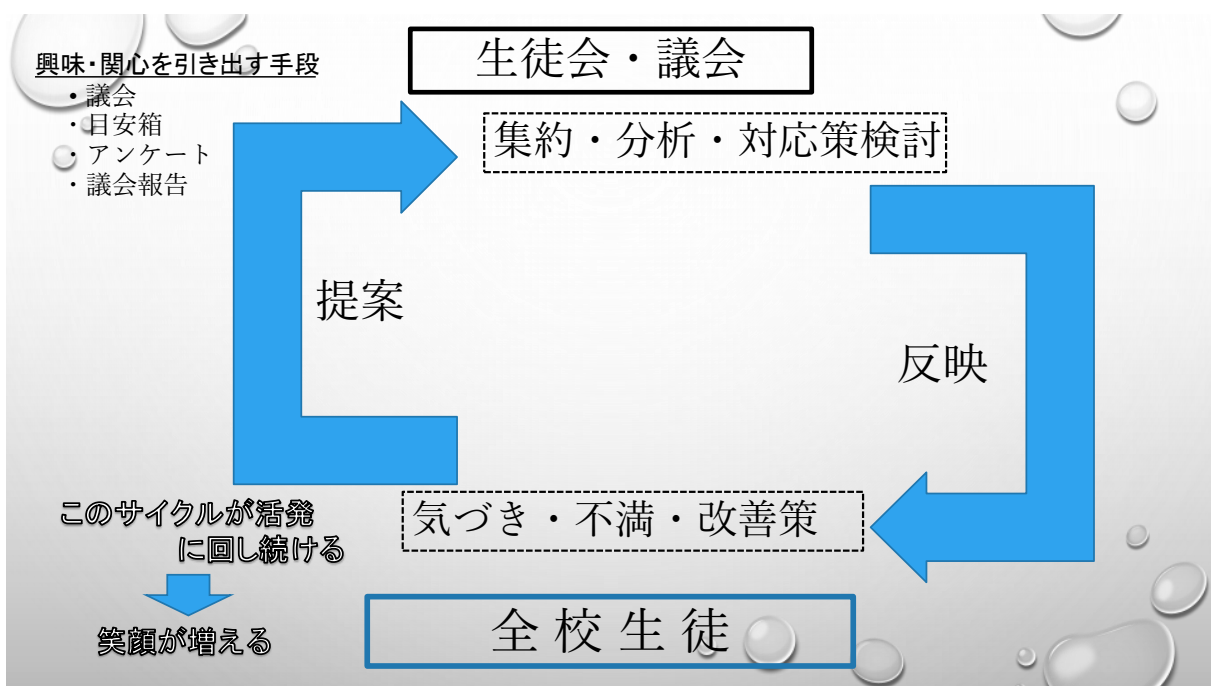
生徒会が考える実現目標

誰もが安心して生活できる学校

互いの存在を認め合う

笑顔が溢れる学校
(本当の楽しさを学校中の人を感じる)

生徒会は全校生徒からの提案があってから、議会などで集約、分析、対応策検討をしたのち、全校生徒に反映されるといふサイクルになっています。このサイクルを活発に回し続けられれば、学校生活がより改善され、生徒の笑顔が増えていくのではないかと考えています。



実現目標を達成するため、サイクルの循環を活発にするための方策について説明します。

1つ目は、各委員会との連携強化です。議会での活動内容について交流をしたり、各委員会に対して生徒会がバックアップすることで各委員会活動を活発化させていきたいと考えています。また、玄関、廊下の掲示にしたり写真などを用いたり、目の届く場所に掲示して情報発信をしていくことで、より多くの人に議会のことを知ってもらいたいと思っています。

2つ目は、デジタル目安箱の設置です。インターネットを利用してアンケートをとったり、全校生徒の意見を集めたりして、たくさんの意見を生徒会活動に反映していきたいと考えています。

具体的な方策

①委員会との連携強化

- 議会での活動を交流
- 各委員会に対して生徒会からのバックアップ
- 掲示物実施(写真を利用し、目に届くような場所に掲示する)
↳場所:玄関、階段

②デジタル目安箱の設置

- 事前に文化祭に関するもの
- 定期的に報告(書面、放送など)
- 利用の仕方を紙で説明

3つ目は校則の趣旨の見える化です。生徒指導部の先生方に定められた趣旨や理由について理解できない校則についての詳しい話を聞き、生徒会が集約してホームページや書面にまとめて全校に知らせることで生徒と先生間での意見のずれの違いのないようにしていきたいと思っています。

4つ目は、議会報告の工夫です。これまでは、議会報告を見ていないという人がいたため、直接議会に参加した議員とクラス委員にしか詳しい話が伝わっていなかったり、議会で何を話し合い何が決定したのかあまり全校に広まっていなかったりしました。これからは議会が終わった1週間後を目安に放送と書面で議会報告を発信し、議会でのどのような話し合いが行われているかを全校に理解してもらいやすくして、議会参加を活発にしていこうと考えています。

5つ目は縦割り交流の実施です。生徒会では自分たちの学科、クラスの枠を超えた縦横斜めの交流を持つことで、他の学科に興味をもったり、1、2年生が先輩方の検定の話などを聞くことで自分の検定勉強などに役立ててもらいたいと思っています。そのためにHPを活用し、各学科、クラスを紹介してもらいたいと考えています。またコロナの影響で実現出来るかわかりませんがLHRでレクリエーションや各クラスの定期報告会も出来たらと思っています。

③校則の趣旨の見える化

- 生徒指導部の先生に詳しい話を聞く
- 詳しい内容をまとめ全校に知らせる(Nasまたは書面)

④議会報告の工夫

- 議会報告(放送&書面)
- 1週間後までに放送

⑤縦割り交流の実施

- HPの活性化(学科、クラスごとの紹介)
↳誰でも簡単に見ることができる
- LHRでの交流(レクリエーション、定期報告会)
- あいさつ活動(岡本→山田、山田→岡本)
- 学科紹介、学科ツアー
- 文化祭で各学科の強みを生かした発表、展示

6 つ目はあいさつ活動の活性化です。私たちが考える活性化とは生徒会だけでなく全校が一丸となって活動していくことです。これまで生徒会の昇降口前でのあいさつ活動をとおして、て避けていってしまう人、お辞儀だけのあいさつの人がいると感じました。あいさつをすることで話しやすくなったり、印象が良くなったりします。また生徒会のことを知ってもらえる、興味を持ってもらえる機会です。

⑥ 挨拶活動の活性化

活性化とは・・・

生徒会だけではなく、全校が主体となって全校で活動



目的

- ・話しやすくなる＋印象が良くなる
- ・生徒会のことを知ってもらえる
- ・将来的に役立つ(社会の基本)

あいさつ活動を行ってみて

- ・人によって差がある
- ・避けていく人がある
- ・お辞儀のみのあいさつ

私たち生徒会は、が考えた方策は消毒液をもってあいさつをするということを考えました。また、生徒会だけでなく風紀委員を中心にあいさつ活動で全校を交えた活動を行います。あいさつ活動は全校でやるからこそ意味があります。全校生徒の意見をたくさん聞き、生徒会が中心となって実施していくので、全校生徒のみなさんも積極的に活動に参加するなど、飛騨高山高校の一員として全校で活動に参加してもらいたいです。

方策

- ・ 消毒液をもってあいさつ
- ・ 生徒会だけでなく風紀委員を中心に挨拶活動を全校で行う

生徒会があいさつするのに対し、返すことで全校で活動するのにつながる



全校でやるからこそ意味がある(生徒会中心)

また授業前後のあいさつを全校で統一していきたいと思います。あいさつを先にしてその後礼をする、語先後礼でのあいさつを基本として行っていきたいと思います。3年生の方は知っている語先後礼は、面接試験においても大切になってくるので今のうちから全校生徒が自然にできるようにしていきたいと思います。

授業時のあいさつ

語先後礼

「お願いします」、「ありがとうございます」の後に礼をしてください。

今後の活動内容はこちらです。コロナの影響で思い通りに活動ができない点もありましたが任期の12月まで全力で取り組んでいきたいと思います。